

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年7月10日(2014.7.10)

【公表番号】特表2013-527197(P2013-527197A)

【公表日】平成25年6月27日(2013.6.27)

【年通号数】公開・登録公報2013-034

【出願番号】特願2013-512249(P2013-512249)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/5415	(2006.01)
A 6 1 K	9/70	(2006.01)
A 6 1 K	47/06	(2006.01)
A 6 1 K	47/32	(2006.01)
A 6 1 K	47/10	(2006.01)
A 6 1 K	47/22	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	19/06	(2006.01)
A 6 1 P	25/06	(2006.01)
A 6 1 P	25/04	(2006.01)
A 6 1 P	5/24	(2006.01)
A 6 1 P	15/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/5415	
A 6 1 K	9/70	4 0 1
A 6 1 K	47/06	
A 6 1 K	47/32	
A 6 1 K	47/10	
A 6 1 K	47/22	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	19/06	
A 6 1 P	25/06	
A 6 1 P	25/04	
A 6 1 P	5/24	
A 6 1 P	15/00	

【手続補正書】

【提出日】平成26年5月23日(2014.5.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ピロキシカムの局所投与のためのマトリックスパッチであって、該マトリックスパッチは、除去可能なカバー層、適合性の裏打ち層、および該除去可能なカバー層と該適合性の裏打ち層との間のピロキシカム含有自己接着マトリックス層から本

質的になり、

該自己接着マトリックス層は、以下の本質的な重要な要素：

アクリルコポリマー自己接着基剤であって、その中に以下：

薬学的に有効な量のピロキシカム、

ペトロラタム、

ポリビニルピロリドン、ならびに

ジメチルイソソルビド、ジエチレングリコールのモノアルキルエーテル、またはこれらの混合物

を維持するアクリルコポリマー自己接着基剤、

のみを含有する、マトリックスパッチ。

#### 【請求項 2】

前記自己接着マトリックス層が、前記除去可能なカバー層の除去後に前記裏打ち層上に残り、そして該自己接着マトリックス層から皮膚を通しての前記ピロキシカムの浸透のために、該皮膚と接触して配置され得る、請求項 1 に記載のマトリックスパッチ。

#### 【請求項 3】

前記自己接着マトリックス層が、約 0.1 % ~ 約 1.5 % のピロキシカムを含有する、請求項 1 に記載のマトリックスパッチ。

#### 【請求項 4】

前記自己接着マトリックス層が、約 1 % ~ 約 5 % のピロキシカムを含有する、請求項 3 に記載のマトリックスパッチ。

#### 【請求項 5】

前記自己接着マトリックス層が、ジメチルイソソルビドを含有し、ジエチレングリコールのモノアルキルエーテルを含有しない、請求項 1 に記載のマトリックスパッチ。

#### 【請求項 6】

前記自己接着マトリックス層が、ジエチレングリコールのモノアルキルエーテルを含有し、ジメチルイソソルビドを含有しない、請求項 1 に記載のマトリックスパッチ。

#### 【請求項 7】

前記ジエチレングリコールのモノアルキルエーテルが、ジエチレングリコールのモノエチルエーテルである、請求項 1 に記載のマトリックスパッチ。

#### 【請求項 8】

前記アクリルコポリマー自己接着基剤が D u r o - T a k 3 8 7 - 2 0 5 2 である、請求項 1 に記載のマトリックスパッチ。

#### 【請求項 9】

前記裏打ち層が、片面が医療等級の感圧性接着剤でコーティングされ、そして該面に前記マトリックス層がキャスティングされた不織布である、請求項 1 に記載のマトリックスパッチ。

#### 【請求項 10】

前記除去可能なカバー層が、フルオロポリマーでコーティングされたポリエステルフィルムである、請求項 1 に記載のマトリックスパッチ。

#### 【請求項 11】

前記自己接着マトリックス層が、ジメチルイソソルビドおよびジエチレングリコールのモノアルキルエーテルを含有する、請求項 1 に記載のマトリックスパッチ。

#### 【請求項 12】

慢性関節リウマチ、変形性関節症、炎症性関節症、痛風および偽痛風、月経困難症、転移性骨疼痛、頭痛および片頭痛、術後疼痛、帯状疱疹後神経痛、神経障害性疼痛、スポーツ傷害、軟部組織障害、過労、捻挫、挫傷、肩、肘、手根または膝の腱炎または滑液包炎、手根管症候群、外側上顆炎、腰部の疼痛および傷害に関連する急性および慢性の疼痛および炎症を処置するための、請求項 1 に記載のマトリックスパッチであって、該マトリックスパッチは局所的に付着させられることを特徴する、マトリックスパッチ。

#### 【請求項 13】

ピロキシカムの局所投与のためのマトリックスパッチであって、該マトリックスパッチは、除去可能なカバー層、適合性の裏打ち層、および該除去可能なカバー層と該適合性の裏打ち層との間のピロキシカム含有自己接着マトリックス層から本質的になり、該自己接着マトリックス層は、以下の本質的な重要な要素：

アクリルコポリマー自己接着基剤であって、その中に以下：

薬学的に有効な量のピロキシカム、

ペトロラタム、

ポリビニルピロリドン、

溶媒、および

ジメチルイソソルビド、ジエチレングリコールのモノアルキルエーテル、またはこれらの混合物

を維持するアクリルコポリマー自己接着基剤、  
のみを含有する、マトリックスパッチ。

【請求項 14】

前記溶媒が、テトラヒドロフランである、請求項 13 に記載のマトリックスパッチ。

【請求項 15】

前記溶媒がエバポレーションにより除去される、請求項 13 に記載のマトリックスパッチ。

【請求項 16】

前記溶媒の除去後のピロキシカムの重量百分率が、約 1 % ~ 約 5 % のピロキシカムである、請求項 15 に記載のマトリックスパッチ。

【請求項 17】

前記自己接着マトリックス層が、前記除去可能なカバー層の除去後に前記裏打ち層上に残り、そして該自己接着マトリックス層から皮膚を通しての前記ピロキシカムの浸透のために、該皮膚と接触して配置され得る、請求項 13 に記載のマトリックスパッチ。

【請求項 18】

前記自己接着マトリックス層が、約 0.1 % ~ 約 1.5 % のピロキシカムを含有する、請求項 13 に記載のマトリックスパッチ。

【請求項 19】

前記自己接着マトリックス層が、約 1 % ~ 約 5 % のピロキシカムを含有する、請求項 13 に記載のマトリックスパッチ。

【請求項 20】

前記自己接着マトリックス層が、ジメチルイソソルビドを含有し、ジエチレングリコールのモノアルキルエーテルを含有しない、請求項 13 に記載のマトリックスパッチ。

【請求項 21】

前記自己接着マトリックス層が、ジエチレングリコールのモノアルキルエーテルを含有し、ジメチルイソソルビドを含有しない、請求項 13 に記載のマトリックスパッチ。

【請求項 22】

前記自己接着マトリックス層が、ジメチルイソソルビド、およびジエチレングリコールのモノアルキルエーテルを含有する、請求項 13 に記載のマトリックスパッチ。

【請求項 23】

前記ジエチレングリコールのモノアルキルエーテルが、ジエチレングリコールのモノエチルエーテルである、請求項 13 に記載のマトリックスパッチ。

【請求項 24】

前記アクリルコポリマー自己接着基剤が Duro-Tak 387-2052 である、請求項 13 に記載のマトリックスパッチ。

【請求項 25】

前記裏打ち層が、片面が医療等級の感圧性接着剤でコーティングされ、そして該面に前記マトリックス層がキャスティングされた不織布である、請求項 13 に記載のマトリックスパッチ。

**【請求項 2 6】**

前記除去可能なカバー層が、フルオロポリマーでコーティングされたポリエステルフィルムである、請求項 1 3 に記載のマトリックスパッチ。

**【請求項 2 7】**

慢性関節リウマチ、変形性関節症、炎症性関節症、痛風および偽痛風、月経困難症、転移性骨疼痛、頭痛および片頭痛、術後疼痛、帯状疱疹後神経痛、神経障害性疼痛、スポーツ傷害、軟部組織障害、過労、捻挫、挫傷、肩、肘、手根または膝の腱炎または滑液包炎、手根管症候群、外側上顆炎、腰部の疼痛および傷害に関連する急性および慢性の疼痛および炎症を処置するための、請求項 1 3 に記載のマトリックスパッチであって、該マトリックスパッチは局所的に付着させられることを特徴する、マトリックスパッチ。

**【手続補正 2】**

**【補正対象書類名】**明細書

**【補正対象項目名】**0 0 0 9

**【補正方法】**変更

**【補正の内容】**

**【0 0 0 9】**

本発明のマトリックスパッチは、慢性関節リウマチ、変形性関節症、炎症性関節症、痛風および偽痛風、月経困難症、転移性骨疼痛、頭痛および片頭痛、術後疼痛、帯状疱疹後神経痛、神経障害性疼痛、スポーツ傷害、軟部組織障害、過労、捻挫、挫傷、肩、肘、手根または膝の腱炎または滑液包炎、手根管症候群、外側上顆炎 (lateral epicondylitis)、腰部の疼痛および傷害などに関連する急性および慢性の疼痛および炎症の局所処置において有用である。

一実施形態において、例えば、以下の項目が提供される。

(項目 1)

ピロキシカムの局所投与のためのマトリックスパッチであって、該マトリックスパッチは、除去可能なカバー層、適合性の裏打ち層、および該除去可能なカバー層と該適合性の裏打ち層との間のピロキシカム含有自己接着マトリックス層から本質的になり、該自己接着マトリックス層は、薬学的に有効な量のピロキシカムをアクリルコポリマー自己接着基剤中に含有し、該基剤はさらに、ペトロラタム、ポリビニルピロリドン、ならびにジメチルイソソルビドおよび/またはジエチレングリコールのモノアルキルエーテルのいずれかを含有する、マトリックスパッチ。

(項目 2)

前記自己接着マトリックス層が、前記除去可能なカバー層の除去後に前記裏打ち層上に残り、そして該自己接着マトリックス層から皮膚を通しての前記ピロキシカムの浸透のために、該皮膚と接触して配置され得る、項目 1 に記載のマトリックスパッチ。

(項目 3)

前記自己接着マトリックス層が、約 0.1 % ~ 約 1.5 % のピロキシカムを含有する、項目 1 に記載のマトリックスパッチ。

(項目 4)

前記自己接着マトリックス層が、約 1 % ~ 約 5 % のピロキシカムを含有する、項目 3 に記載のマトリックスパッチ。

(項目 5)

前記自己接着マトリックス層が、約 1.1 % のピロキシカムを含有する、項目 4 に記載のマトリックスパッチ。

(項目 6)

前記自己接着マトリックス層が、約 1.5 % のピロキシカムを含有する、項目 4 に記載のマトリックスパッチ。

(項目 7)

前記自己接着マトリックス層が、約 1.7 % のピロキシカムを含有する、項目 4 に記載

のマトリックスパッチ。

(項目8)

前記自己接着マトリックス層が、約1.8%のピロキシカムを含有する、項目4に記載のマトリックスパッチ。

(項目9)

前記自己接着マトリックス層が、約2%のピロキシカムを含有する、項目4に記載のマトリックスパッチ。

(項目10)

前記自己接着マトリックス層が、約2.2%のピロキシカムを含有する、項目4に記載のマトリックスパッチ。

(項目11)

前記自己接着マトリックス層が、約2.4%のピロキシカムを含有する、項目4に記載のマトリックスパッチ。

(項目12)

前記自己接着マトリックス層が、約2.9%のピロキシカムを含有する、項目4に記載のマトリックスパッチ。

(項目13)

前記自己接着マトリックス層が、約3.1%のピロキシカムを含有する、項目4に記載のマトリックスパッチ。

(項目14)

前記自己接着マトリックス層が、ジメチルイソソルビドを含有する、項目1に記載のマトリックスパッチ。

(項目15)

前記自己接着マトリックス層が、ジエチレングリコールのモノアルキルエーテルを含有する、項目1に記載のマトリックスパッチ。

(項目16)

前記ジエチレングリコールのモノアルキルエーテルが、ジエチレングリコールのモノエチルエーテルである、項目15に記載のマトリックスパッチ。

(項目17)

前記アクリルコポリマー自己接着基剤がDuro-Tak 387-2052である、項目1に記載のマトリックスパッチ。

(項目18)

前記裏打ち層が、片面が医療等級の感圧性接着剤でコーティングされ、そして該面に前記マトリックス層がキャスティングされた不織布である、項目1に記載のマトリックスパッチ。

(項目19)

前記除去可能なカバー層が、フルオロポリマーでコーティングされたポリエステルフィルムである、項目1に記載のマトリックスパッチ。

(項目20)

ピロキシカムの局所投与のためのマトリックスパッチであって、該マトリックスパッチは、除去可能なカバー層、適合性の裏打ち層、および該除去可能なカバー層と該適合性の裏打ち層との間のピロキシカム含有自己接着マトリックス層から本質的になり、該自己接着マトリックス層は、アクリルコポリマー自己接着基剤中の薬学的に有効な量のピロキシカムから本質的になり、該基剤はさらに、ペトロラタム、ポリビニルピロリドン、およびジメチルイソソルビドを含有する、マトリックスパッチ。

(項目21)

前記自己接着マトリックス層が、約0.1%～約15%のピロキシカムを含有する、項目20に記載のマトリックスパッチ。

(項目22)

前記自己接着マトリックス層が、約1%～約5%のピロキシカムを含有する、項目21

に記載のマトリックスパッチ。

(項目23)

前記自己接着マトリックス層が、約1.1%のピロキシカムを含有する、項目22に記載のマトリックスパッチ。

(項目24)

前記自己接着マトリックス層が、約1.5%のピロキシカムを含有する、項目23に記載のマトリックスパッチ。

(項目25)

前記自己接着マトリックス層が、約1.7%のピロキシカムを含有する、項目23に記載のマトリックスパッチ。

(項目26)

前記自己接着マトリックス層が、約1.8%のピロキシカムを含有する、項目23に記載のマトリックスパッチ。

(項目27)

前記自己接着マトリックス層が、約2%のピロキシカムを含有する、項目23に記載のマトリックスパッチ。

(項目28)

前記自己接着マトリックス層が、約2.2%のピロキシカムを含有する、項目23に記載のマトリックスパッチ。

(項目29)

前記自己接着マトリックス層が、約2.4%のピロキシカムを含有する、項目23に記載のマトリックスパッチ。

(項目30)

前記自己接着マトリックス層が、約2.9%のピロキシカムを含有する、項目23に記載のマトリックスパッチ。

(項目31)

前記自己接着マトリックス層が、約3.1%のピロキシカムを含有する、項目23に記載のマトリックスパッチ。

(項目32)

前記アクリルコポリマー自己接着基剤がDuro-Tak 387-2052である、項目20に記載のマトリックスパッチ。

(項目33)

前記自己接着マトリックス層が、約1%～約5%のピロキシカムを含有し、前記裏打ち層が、片面が医療等級の感圧性接着剤でコーティングされ、そして該面に前記マトリックス層がキャスティングされた不織布であり、そして前記除去可能なカバー層が、フルオロポリマーでコーティングされたポリエステルフィルムである、項目20に記載のマトリックスパッチ。

(項目34)

前記自己接着マトリックス層が、約1.1%のピロキシカムを含有する、項目33に記載のマトリックスパッチ。

(項目35)

前記自己接着マトリックス層が、約1.5%のピロキシカムを含有する、項目33に記載のマトリックスパッチ。

(項目36)

前記自己接着マトリックス層が、約1.7%のピロキシカムを含有する、項目33に記載のマトリックスパッチ。

(項目37)

前記自己接着マトリックス層が、約1.8%のピロキシカムを含有する、項目33に記載のマトリックスパッチ。

(項目38)

前記自己接着マトリックス層が、約2%のピロキシカムを含有する、項目33に記載のマトリックスパッチ。

(項目39)

前記自己接着マトリックス層が、約2.2%のピロキシカムを含有する、項目33に記載のマトリックスパッチ。

(項目40)

前記自己接着マトリックス層が、約2.4%のピロキシカムを含有する、項目33に記載のマトリックスパッチ。

(項目41)

前記自己接着マトリックス層が、約2.9%のピロキシカムを含有する、項目33に記載のマトリックスパッチ。

(項目42)

前記自己接着マトリックス層が、約3.1%のピロキシカムを含有する、項目33に記載のマトリックスパッチ。

(項目43)

ピロキシカムの局所投与のためのマトリックスパッチであって、該マトリックスパッチは、除去可能なカバー層、適合性の裏打ち層、および該除去可能なカバー層と該適合性の裏打ち層との間のピロキシカム含有自己接着マトリックス層から本質的になり、該自己接着マトリックス層は、アクリルコポリマー自己接着基剤中の薬学的に有効な量のピロキシカムから本質的になり、該基剤はさらに、ペトロラタム、ポリビニルピロリドン、およびジエチレングリコールのモノエチルエーテルを含有する、マトリックスパッチ。

(項目44)

前記自己接着マトリックス層が、約0.1%～約15%のピロキシカムを含有する、項目43に記載のマトリックスパッチ。

(項目45)

前記自己接着マトリックス層が、約1%～約5%のピロキシカムを含有する、項目44に記載のマトリックスパッチ。

(項目46)

前記自己接着マトリックス層が、約1.1%のピロキシカムを含有する、項目45に記載のマトリックスパッチ。

(項目47)

前記自己接着マトリックス層が、約1.5%のピロキシカムを含有する、項目45に記載のマトリックスパッチ。

(項目48)

前記自己接着マトリックス層が、約1.7%のピロキシカムを含有する、項目45に記載のマトリックスパッチ。

(項目49)

前記自己接着マトリックス層が、約1.8%のピロキシカムを含有する、項目45に記載のマトリックスパッチ。

(項目50)

前記自己接着マトリックス層が、約2%のピロキシカムを含有する、項目45に記載のマトリックスパッチ。

(項目51)

前記自己接着マトリックス層が、約2.2%のピロキシカムを含有する、項目45に記載のマトリックスパッチ。

(項目52)

前記自己接着マトリックス層が、約2.4%のピロキシカムを含有する、項目45に記載のマトリックスパッチ。

(項目53)

前記自己接着マトリックス層が、約2.9%のピロキシカムを含有する、項目45に記

載のマトリックスパッチ。

(項目54)

前記自己接着マトリックス層が、約3.1%のピロキシカムを含有する、項目45に記載のマトリックスパッチ。

(項目55)

前記アクリルコポリマー自己接着基剤がDuro-Tak 387-2052である、項目43に記載のマトリックスパッチ。

(項目56)

前記自己接着マトリックス層が、約1%～約5%のピロキシカムを含有し、前記裏打ち層が、片面が医療等級の感圧性接着剤でコーティングされ、そして該面に前記マトリックス層がキャスティングされた不織布であり、そして前記除去可能なカバー層が、フルオロポリマーでコーティングされたポリエステルフィルムである、項目43に記載のマトリックスパッチ。

(項目57)

ピロキシカムの局所投与のためのマトリックスパッチであって、該マトリックスパッチは、除去可能なカバー層、適合性の裏打ち層、および該除去可能なカバー層と該適合性の裏打ち層との間のピロキシカム含有自己接着マトリックス層から本質的になり、該自己接着マトリックス層は、薬学的に有効な量のピロキシカムをアクリルコポリマー自己接着基剤中に含有し、該基剤はさらに、ペトロラタム、ポリビニルピロリドン、溶媒、およびジメチルイソソルビドまたはジエチレングリコールのモノアルキルエーテルのいずれかを含有する、マトリックスパッチ。

(項目58)

前記溶媒がテトラヒドロフランである、項目57に記載のマトリックスパッチ。

(項目59)

前記自己接着マトリックス層が、前記除去可能なカバー層の除去後に前記裏打ち層上に残り、そして該自己接着マトリックス層から皮膚を通しての前記ピロキシカムの浸透のために、該皮膚と接触して配置され得る、項目57に記載のマトリックスパッチ。

(項目60)

前記自己接着マトリックス層が、約0.1%～約15%のピロキシカムを含有する、項目57または項目58に記載のマトリックスパッチ。

(項目61)

前記自己接着マトリックス層が、約0.5%～約3%のピロキシカムを含有する、項目60に記載のマトリックスパッチ。

(項目62)

前記自己接着マトリックス層が、約0.91%のピロキシカムを含有する、項目61に記載のマトリックスパッチ。

(項目63)

前記自己接着マトリックス層が、約1.23%のピロキシカムを含有する、項目61に記載のマトリックスパッチ。

(項目64)

前記自己接着マトリックス層が、約1.41%のピロキシカムを含有する、項目61に記載のマトリックスパッチ。

(項目65)

前記自己接着マトリックス層が、約1.49%のピロキシカムを含有する、項目61に記載のマトリックスパッチ。

(項目66)

前記自己接着マトリックス層が、約1.65%のピロキシカムを含有する、項目61に記載のマトリックスパッチ。

(項目67)

前記自己接着マトリックス層が、約1.78%のピロキシカムを含有する、項目61に

記載のマトリックスパッチ。

(項目68)

前記自己接着マトリックス層が、約1.94%のピロキシカムを含有する、項目61に記載のマトリックスパッチ。

(項目69)

前記自己接着マトリックス層が、約2.36%のピロキシカムを含有する、項目61に記載のマトリックスパッチ。

(項目70)

前記自己接着マトリックス層が、約2.53%のピロキシカムを含有する、項目61に記載のマトリックスパッチ。

(項目71)

前記自己接着マトリックス層が、ジメチルイソソルビドを含有する、項目57に記載のマトリックスパッチ。

(項目72)

前記自己接着マトリックス層が、ジエチレングリコールのモノアルキルエーテルを含有する、項目57に記載のマトリックスパッチ。

(項目73)

前記ジエチレングリコールのモノアルキルエーテルが、ジエチレングリコールのモノエチルエーテルである、項目72に記載のマトリックスパッチ。

(項目74)

前記アクリルコポリマー自己接着基剤がDuro-Tak 387-2052である、項目57に記載のマトリックスパッチ。

(項目75)

前記裏打ち層が、片面が医療等級の感圧性接着剤でコーティングされ、そして該面に前記マトリックス層がキャスティングされた不織布である、項目57に記載のマトリックスパッチ。

(項目76)

前記溶媒がエバボレーションにより除去される、項目57に記載のマトリックスパッチ。

(項目77)

前記溶媒の除去後のピロキシカムの重量百分率が、約1%～約5%のピロキシカムである、項目76に記載のマトリックスパッチ。

(項目78)

前記自己接着マトリックス層が、約1.1%のピロキシカムを含有する、項目77に記載のマトリックスパッチ。

(項目79)

前記自己接着マトリックス層が、約1.5%のピロキシカムを含有する、項目77に記載のマトリックスパッチ。

(項目80)

前記自己接着マトリックス層が、約1.7%のピロキシカムを含有する、項目77に記載のマトリックスパッチ。

(項目81)

前記自己接着マトリックス層が、約1.8%のピロキシカムを含有する、項目77に記載のマトリックスパッチ。

(項目82)

前記自己接着マトリックス層が、約2%のピロキシカムを含有する、項目77に記載のマトリックスパッチ。

(項目83)

前記自己接着マトリックス層が、約2.2%のピロキシカムを含有する、項目77に記載のマトリックスパッチ。

(項目84)

前記自己接着マトリックス層が、約2.4%のピロキシカムを含有する、項目77に記載のマトリックスパッチ。

(項目85)

前記自己接着マトリックス層が、約2.9%のピロキシカムを含有する、項目77に記載のマトリックスパッチ。

(項目86)

前記自己接着マトリックス層が、約3.1%のピロキシカムを含有する、項目77に記載のマトリックスパッチ。

(項目87)

慢性関節リウマチ、変形性関節症、炎症性関節症、痛風および偽痛風、月経困難症、転移性骨疼痛、頭痛および片頭痛、術後疼痛、帯状疱疹後神経痛、神経障害性疼痛、スポーツ傷害、軟部組織障害、過労、捻挫、挫傷、肩、肘、手根または膝の腱炎または滑液包炎、手根管症候群、外側上顆炎、腰部の疼痛および傷害に関連する急性および慢性の疼痛および炎症を処置する方法であって、項目1に記載のマトリックスパッチを局所的に付着させる工程を包含する、方法。

(項目88)

慢性関節リウマチ、変形性関節症、炎症性関節症、痛風および偽痛風、月経困難症、転移性骨疼痛、頭痛および片頭痛、術後疼痛、帯状疱疹後神経痛、神経障害性疼痛、スポーツ傷害、軟部組織障害、過労、捻挫、挫傷、肩、肘、手根または膝の腱炎または滑液包炎、手根管症候群、外側上顆炎、腰部の疼痛および傷害に関連する急性および慢性の疼痛および炎症を処置する方法であって、項目20に記載のマトリックスパッチを局所的に付着させる工程を包含する、方法。

(項目89)

慢性関節リウマチ、変形性関節症、炎症性関節症、痛風および偽痛風、月経困難症、転移性骨疼痛、頭痛および片頭痛、術後疼痛、帯状疱疹後神経痛、神経障害性疼痛、スポーツ傷害、軟部組織障害、過労、捻挫、挫傷、肩、肘、手根または膝の腱炎または滑液包炎、手根管症候群、外側上顆炎、腰部の疼痛および傷害に関連する急性および慢性の疼痛および炎症を処置する方法であって、項目43に記載のマトリックスパッチを局所的に付着させる工程を包含する、方法。

(項目90)

慢性関節リウマチ、変形性関節症、炎症性関節症、痛風および偽痛風、月経困難症、転移性骨疼痛、頭痛および片頭痛、術後疼痛、帯状疱疹後神経痛、神経障害性疼痛、スポーツ傷害、軟部組織障害、過労、捻挫、挫傷、肩、肘、手根または膝の腱炎または滑液包炎、手根管症候群、外側上顆炎、腰部の疼痛および傷害に関連する急性および慢性の疼痛および炎症を処置する方法であって、項目57に記載のマトリックスパッチを局所的に付着させる工程を包含する、方法。

**【手続補正3】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0042

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0042】

実施例19(ジメチルイソソルビドを用いるマトリックスパッチ)

ヒトおよび他の哺乳動物における使用のための、急性および慢性の疼痛および炎症を処置するための経皮マトリックスパッチを調製する。この経皮マトリックスパッチは、27.5mg(1.1%)のピロキシカム、101.8mg(4.07%)のペトロラタム、138.1mg(5.52%)のジメチルイソソルビド、および126.5mg(5.06%)のポリビニルピロリドンを、2,106.2mg(84.25%)のDuro-T

ak 387-2052 アクリルコポリマー自己接着基剤中に含有する、自己接着マトリックス層を有する。このマトリックス層を、AR7261（片面がMA-31（医療等級）のアクリル感圧性接着剤でコーティングされた不織布）（Adhesives Research, Inc., Glen Rock, Pennsylvania）上にキャスティングし、次いでNo.9744のフルオロポリマーでコーティングされたポリエステルフィルム（3M, St. Paul, Minnesota）で覆う。あるいは、片面が低アレルギー性感圧性アクリレート接着剤でコーティングされた3M CoTran 9699 Single Coated Melt Brown Polyurethane Tapeが、この裏打ちのために使用され得る。キャスティング後、これらのパッチを8cm×12.5cm（100sq.cm）に切断する。使用において、カバー層を除去し、そしてマトリックス層を皮膚に接触させて配置する。これらのパッチは、ヒト被験体での使用中に、皮膚を通してのピロキシカムの優れた浸透を示す。

#### 【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0043

【補正方法】変更

【補正の内容】

#### 【0043】

実施例20（ジエチレングリコールのモノエチルエーテルを用いるマトリックスパッチ）

ヒトおよび他の哺乳動物における使用のための、急性および慢性の疼痛および炎症を処置するための経皮マトリックスパッチを調製する。この経皮マトリックスパッチは、27.5mg（1.1%）のピロキシカム、101.8mg（4.07%）のペトロラタム、138.1mg（5.52%）のジエチレングリコールのモノエチルエーテル、および126.5mg（5.06%）のポリビニルピロリドンを、2,106.2mg（84.25%）のDuro-Tak 387-2052 アクリルコポリマー自己接着基剤中に含有する、自己接着マトリックス層を有する。実施例19においてと同様に、このマトリックス層を、AR7261（片面がMA-31（医療等級）のアクリル感圧性接着剤でコーティングされた不織布）（Adhesives Research, Inc., Glen Rock, Pennsylvania）上にキャスティングし、次いでNo.9744のフルオロポリマーでコーティングされたポリエステルフィルム（3M, St. Paul, Minnesota）で覆う。あるいは、片面が低アレルギー性感圧性アクリレート接着剤でコーティングされた3M CoTran 9699 Single Coated Melt Brown Polyurethane Tapeが、この裏打ちのために使用され得る。キャスティング後、これらのパッチを8cm×12.5cm（100sq.cm）に切断する。使用において、カバー層を除去し、そしてマトリックス層を皮膚に接触させて配置する。これらのパッチは、ヒト被験体での使用中に、皮膚を通してのピロキシカムの優れた浸透を示す。